

おきなわSDGsアクションプラン（案） について

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

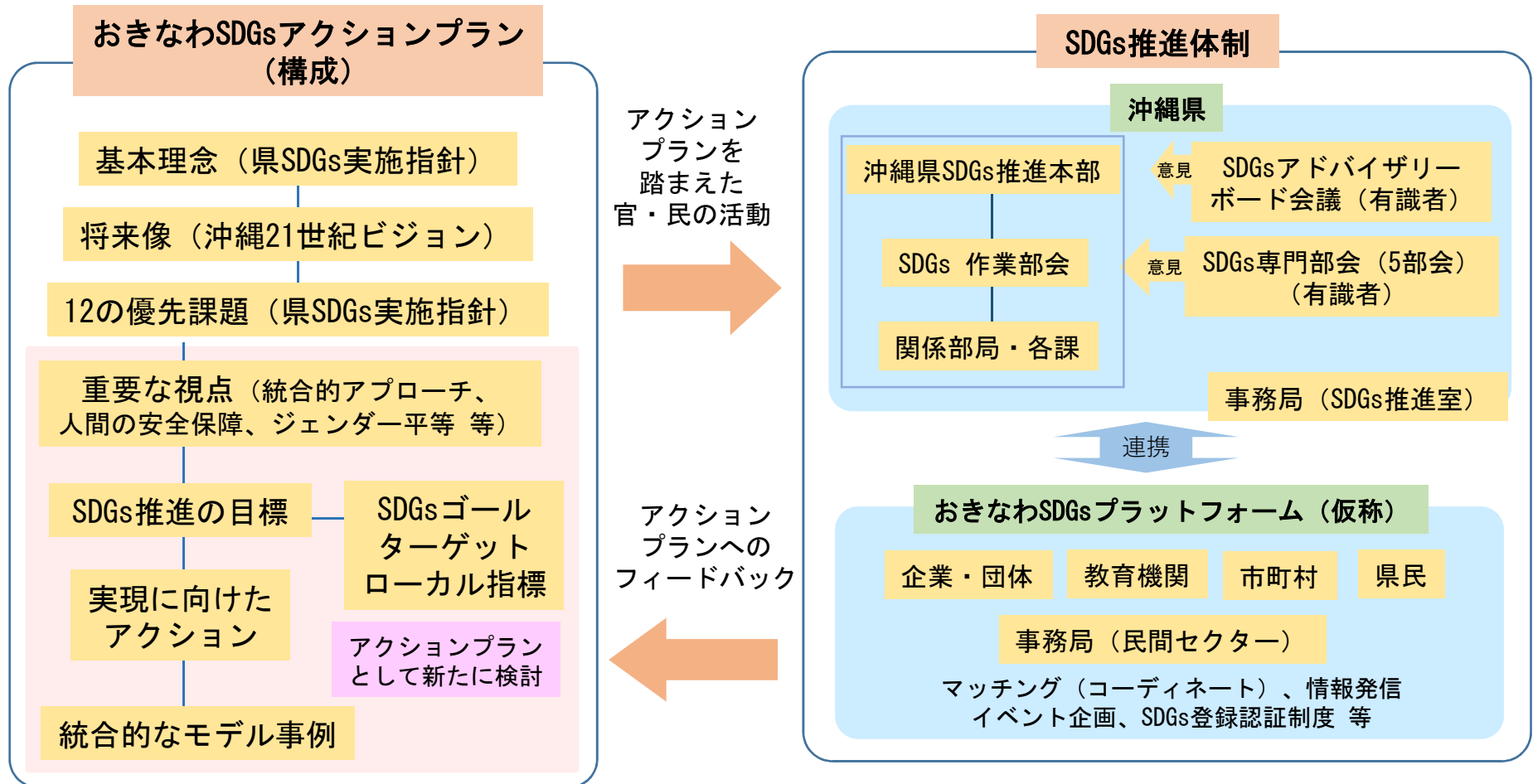


令和4年3月28日

企画調整課 SDGs推進室

「沖縄県SDGs実施指針」に基づき、様々なステークホルダーとともに全県的なSDGsの浸透と主流化を目指すため、優先課題及びSDGsゴールに対応した具体的な目標と達成度を測るモニタリング指標等を盛り込んだ「おきなわSDGsアクションプラン」を策定する。

アクションプランのモニタリング指標に基づき、SDGs 達成に向けた進捗状況等を点検し、見直し作業（フィードバック）を毎年行うことを予定している。



県民意見募集 インプット可能な 要素の情報収集

- ・ 県民アンケートの実施（9/27～12/3募集、1,686件回答）
- ・ 沖縄21世紀ビジョン、新たな振興計画（素案）等
- ・ 沖縄県SDGs実施指針に関するパブリックコメント等の県民意見
- ・ 若者の意見収集（SDGs OKINAWAグランプリ2021, 高校生の会議等）
- ・ 県政出前講座等のSDGs研修及び勉強会のアンケート意見
- ・ 企業・団体が主体的に収集した意見（イベント、アンケート）等

骨子に関する 意見収集

- ・ 骨子（たたき台）のとりまとめ
- ・ SDGsアドバイザリーボード会議の意見収集（12/16）
- ・ SDGs専門部会（5部会）の意見収集（12/20～12/27）
- ・ 庁内関係部局の意見照会（12/20～12/27）
- ・ 骨子のとりまとめ
- ・ 関係団体、市町村、パートナー登録団体の意見照会（1/7～1/25）

素案に関する 意見収集

- ・ 意見聴取結果をもとに、素案（たたき台）をとりまとめ
- ・ 庁内関係部局の意見照会（2/15～2/25）
- ・ 沖縄県SDGs推進本部会議（3/1）
- ・ SDGs専門部会（5部会）の意見収集（3/2～3/10）
- ・ 関係団体、市町村、パートナー登録団体の意見照会（3/2～3/18）
- ・ SDGsアドバイザリーボード会議の意見収集（3/22）
- ・ 庁内関係部局の意見照会（3/22～3/24）
- ・ 沖縄県SDGs推進本部 アクションプラン（案）の決定（3月末）

最終化

- ・ パブリックコメント（3月末～4月予定）
- ・ 沖縄県SDGs推進本部 アクションプランを決定（5月予定）

1 多様な意見を踏まえた内容の再検討

- (1) SDGsアドバイザーボード会議、SDGs専門部会、市町村・関係団体・おきなわSDGsパートナー登録団体からの意見、庁内関係部局の意見を踏まえ、アクションプラン（案）をとりまとめた。

2 ローカル指標の設定

- (1) ローカル指標の設定については、SDGsアドバイザーボード会議、SDGs専門部会から追加指標の提案、指標の変更等、多様な意見や提案があることから、アクションプランの見直し作業の中で、SDGs専門部会等の議論を踏まえながら検討を行い、適宜、反映していくことを予定している。
- (2) 設定したローカル指標の内、令和4年度から開始する新たな振興計画に関連する成果指標については、令和4年度の実施計画の策定プロセスにおいて目標値設定等が検討されることとなっていることから、令和4年度に設定され次第、明記することを予定している。

3 統合的な取組のモデル事例の追加

- (1) 統合的な課題解決の取組についての方向性や考え方を共有するため、テーマ毎にモデル事例の概要図を整理しており、モデル事例を踏まえつつ、様々なステークホルダーが持ち味を活かした多様な取組や連携を促進することを想定している。
- (2) アクションプラン（案）においては、5つのテーマのモデル事例を掲載しているが、今後、関係部局との意見交換、SDGs専門部会等の議論を踏まえながらテーマの追加、モデル事例に記載した取組の追加・見直しなどを行うことを予定している。

これまではSDGsの県民認知度の向上に向けた普及啓発、県の推進体制の構築、教育分野の対応促進などに取り組んできた。SDGsの認知が進んでいると推測されることや「おきなわSDGsパートナー」の登録団体の急増など、県内企業・団体の関心が高まっていること。アクションプランが策定されることを踏まえ、取組をステップアップさせていく方向である。

知ってもらう

政策課題 SDGsの認知度向上

SDGs県民認知度調査 (R2) 33.4%

ポータルサイト等の情報発信
各種イベントの推進又は協力
県政出前講座の講師派遣 等

取り組み始める

県の推進体制の構築
(各種計画反映、全庁的な推進)

おきなわSDGsパートナー登録制度

学習指導要領を踏まえた
教育分野での対応促進 等

より広く知ってもらう。
深く知ってもらう。

様々なステークホルダーと具
体的に実践する。

仲間をつくり、増やす。

SDGs達成度について
コミュニケーション
を行う。

多様なステークホルダーが
参画、連携する枠組みを構築する。
(プラットフォームの構築)

情報発信・コーディネート・交流機会の創出等を通じ、県内外の多様なステークホルダーの参画と連携を促進。SDGsに取り組む県内企業等の登録・認証を実施するとともに、SDGs登録認証制度に関するインセンティブ設計を検討するなど、県内企業・団体の取組を促進する。

おきなわSDGsプラットフォーム（仮称）

会 員

県 内

SDGsの達成、地域課題の解決に連携して
取り組む県内の団体・個人

- ・ 県内の企業・団体、教育機関
- ・ 県内の市町村
- ・ 県内に在住する個人

登録・認証団体

県 外

県内のステークホルダーとの連携・交流
を希望する国外・県外の団体

- ・ 県外の企業・団体、教育機関
- ・ 県外の地方自治体
- ・ 国外の企業・団体・教育機関

運営協議会

プラットフォーム事務局
において右記の支援を行
うとともに、県と共同で
登録・認証制度の制度運
用を行う予定。

普及啓発 Promotion

- ・ 普及啓発イベント ・ 表彰
- ・ 情報発信（ポータルサイト等）

交流・連携 Partnership

- ・ セミナー・交流イベント

参画 Participation

- ・ 各種ステークホルダー会議

プロジェクト立案

Project Planning

- ・ コーディネート、事業化支援

プラットフォーム事務局（民間セクター）